



# 55期 SDGsレポート

2022(R4).8~2023(R5).7



# 経営理念

## 「資源に無限の夢を。」

われわれの役割は、さまざまな資源が本来持つ輝きを、  
最高の技術と精緻な仕事で引き出し、  
時にそれ以上の価値を生み出すことである。

1人ひとりが地球の未来を守る「資源循環のプロフェッショナル」として、  
誇りと自負を持ち、  
資源に無限の夢を持ち続けていく。

飽くなき探求心と弛まぬ努力を通じて「喜ばれる存在」となり、  
そのやりがいや楽しさを  
社員全員の物心両面の充足と幸せにつなげていく。

[55期全社スローガン]

# 響かせろ<sup>◆</sup> 協働の魂!<sup>◆</sup>

～いざ出陣!! 「9つの力」をたぎらせてGO GO!～

## 目次

本レポートについて/ 当社の主な取り組みとSDGsの対応表	3	広報活動	12
健康経営	5	その他トピックス	13
安全衛生	8	寺前倉庫	14
人材育成	7	設備投資	15
技術開発	9	第55期の振り返り	17
新規取り組み	10	「会社見学」のご案内	18
社会貢献	11	会社概要/編集後記	19

# 本レポートについて

このレポートは1年間の取り組みを振り返り、次の1年の糧とする目的で作成し、同時に「経営品質レポート」「CSRレポート」も兼ねています。  
ぜひ様々な視点から本レポートをご覧ください。取り組みの理解度が増すことと思います。

## 〇「SDGs」とは？



持続可能な開発目標(SDGs)とは、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。



## 〇「経営品質」とは？

米国「マルコムボルドリッジ国家品質賞(MB賞)」の枠組みを研究し、顧客価値経営を評価する日本版の基準として確立されたのが「経営品質」であり、モデルとなるべき組織を表彰する制度として、「日本経営品質賞」が創設されました。

①どの業種・業態にも共通する枠組み(フレームワーク)、②枠組みを用いた見直し(セルフアセスメント)方法、③見直し実施後の評価ガイドライン、の3点が特徴であり、取り組みの基礎となる考え方が「経営品質の4本柱」です。



株式会社MATコンサルティング代表取締役 望月広愛氏による勉強会

# 当社の主な取り組みとSDGsの対応表

取り組み	対応アイコン	具体的な内容	備考
1 健康経営	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営優良法人認定</li> <li>・禁煙週間</li> <li>・ウォーキング大会</li> <li>・こころの健康づくり計画</li> </ul>	
2 安全衛生	    	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全パトロール</li> <li>・安全作業標準書整備</li> <li>・ヒヤリ・ハット報告書</li> <li>・リスクアセスメント</li> <li>・安全大会</li> </ul>	
3 人材育成	     	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・社員教育体制の見直し</li> </ul>	・15年連続の新卒採用実績
4 技術開発	     	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボティクスライン構築</li> <li>・既存ラインの改良整備</li> </ul>	・知財取得
5 社会貢献	     	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動</li> <li>・清掃活動</li> <li>・協賛・寄付</li> </ul>	・ボランティア活動本格再開
6 広報活動	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社見学会</li> <li>・出前授業</li> <li>・すごい工場博</li> <li>・各種取材受け付け</li> </ul>	

アルメックのコア事業である「リサイクル」は、それ自体がSDGs＝持続可能な開発目標にマッチするものです。アルメックではそれにとどまらず、上の表に掲げたような様々な取り組みを通して、SDGsを実践しています。



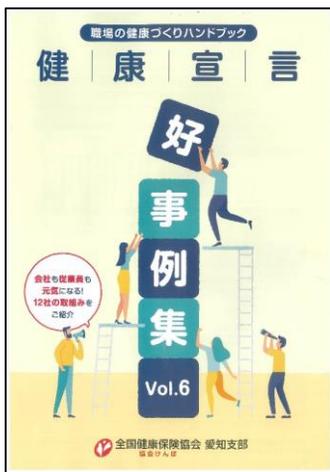
# 社外からも注目される健康経営の取り組み

55期上期はコロナの影響が残ったものの、ようやく様々な制約が解消されてきました。

今期は3年ぶりの社員旅行など社内イベントも徐々に再開の動きがみられました。また、例年通り「健康経営優良法人」認定の申請をするなど、自分たちのできる範囲で活動を展開しました。



## ■協会けんぽ様「健康宣言好事例集 Vol.6」掲載



協会けんぽ愛知支部様の「健康宣言好事例集」Vol.6に当社取り組みを掲載して頂きました。当社が掲載されるのは2回目です。

採用テーマは①女性が長く活躍できる職場づくり②コミュニケーション・心の健康づくりです。

アルメックは「あいち女性輝きカンパニー」認証を取得、誰もが働きやすい職場を目指しています。愛知県が女性活躍に力を入れ、豊橋市・西尾市・そして地元大府市を「モデル都市」に選定して取り組みを強力に推進しているところでもあり、タイムリーな話題として取り上げて頂きました。

## ○今期健康経営の取り組み

月	主な取り組み実績
8月	こころの健康づくり計画改訂
10月	秋の禁煙週間
11月	3年ぶりとなる社員旅行開催 健康経営優良法人認定 申請書作成・提出 協会けんぽ愛知支部様「健康宣言好事例集」に掲載
2月	大府市働きやすい企業表彰(健康経営部門)受賞(別ページにて紹介) 社内ウォーキング大会開催
3月	健康経営優良法人2023 認定
5月	春の禁煙週間 部署ごとの「リフレッシュ食事会」を実施
7月	ストレスチェック実施



# 安全衛生の取り組み



安全衛生委員会では前期に引き続き「指摘してくれてありがとう 見守り気配り」をスローガンとして活動を展開してきました。

## ①安全大会開催

10月17日(月)、第6回安全大会を開催しました。54期は事故破損の総数は減少したものの、労災案件が増加してしまいました。特に「挟まれ、巻き込まれ」が4件発生しており、回転体への安全対策が急務であることを全社で共有しました。合わせて、社内での対策状況の発表もありました。



## ②ノウハウの積極的な導入・共有

今期は労基署や産業資源循環協会など、外部主催の勉強会に多く参加し、他社事例などから多くの学びを得ました。

普通救命講習など実践的な講習会には委員会メンバー以外の方にも参加してもらい、いざという時に対応できる人材の確保育成にも努めました。

また、社内での「ヒヤリ・ハット」の気付きについてはAS向上委員会とも連携し、具体的な改善策を考案して改善提案として提出するなど、これまでになかった取り組みを展開できました。



月	主な取り組み実績
9月	防災訓練実施 全国交通安全週間呼びかけ
10月	半田労基署主催 機械安全に係る労働災害防止講習会出席(1名) 安全大会 指差呼称看板設置
1月	豊明消防署 普通救命講習受講(計4名)
2月	愛知県産業資源循環協会様主催の安全大会出席(1名) シュレツダ建屋テント張り替え
3月	ウイング車荷降ろし新ルールスタート 令和4年度無事故無違反100日運動 表彰
6月	避難訓練実施





## キーワードは「通年」「遠距離」。15年連続採用達成

55期も対面とオンラインを組み合わせることで集客力アップを目指すとともに、それぞれの特性を活かしたコンテンツを用意して学生の惹きつけを図りました。

インターンシップが実質的な選考の場となり、ほぼ通年で活動が定番化する中、オンライン説明会は限られた人的資源で学生を幅広く集める強力なツールとなりつつあります。

2023年入社15期生の中には近畿圏からアルメックを選んで下さった方もおり、会社の魅力を伝える努力が実ったと嬉しく思っています。

### ○今期リクルーターの取り組み

月	主な取り組み実績
10月	内定者研修
11月	インターンシップEXPO インターンシップ(WEB開催を含む)
3月	マイナビEXPO 選考を本格的に開始
5月	大府市就職フェア
7月	刈谷・大府就職フェア



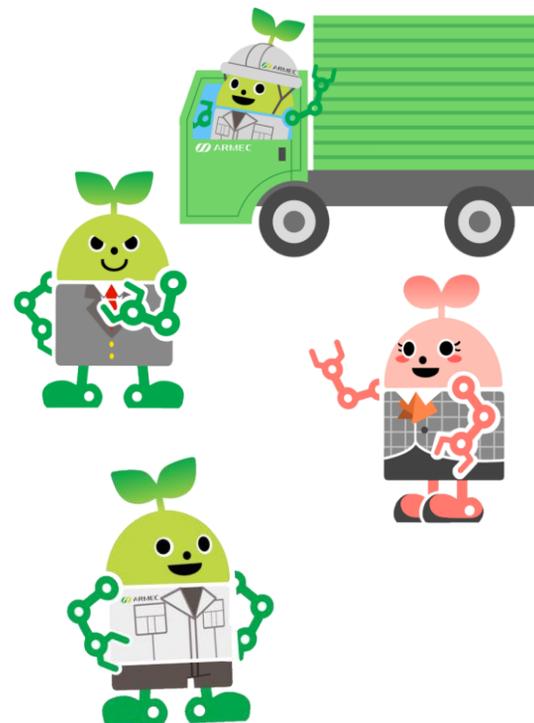
### ■「採用面接シート」見直しと適性検査導入

採用プロセス見直しの一環として、「採用面接シート」の見直しを実施しました。型にはまらない、より効果的な質問をすることで、学生の人となりや志望度の高さを計測しやすくします。

「MUST要件」による可否の判断基準の明確化にも努めました。これまで面接官が感じてきた「アルメックの社員としてこうあってほしい」という期待を文章に落とし込み、判断基準としたものです。

また、適性検査「DBIT」の導入も決まりました。これは、制限時間内で問題を解いてもらうことをくり返し、その結果(回答の正確さ、回答数の多さ)によって受験者の能力や特性を明らかにするものです。

「美点凝視」をポリシーとする当社の採用活動に客観的な指標を導入することで、アルメックで大活躍してくれる方の採用確率を高めていく狙いです。



## 採用プロセスの見直し+教育制度のレベルアップ

### ■社員教育体制の見直し

55期は教育体制の見直しを進めました。4月に実施する新人研修の内、役員研修については中途採用の方も参加、会社の歴史や経営理念を勉強して頂きました。

また、安全衛生教育は昨年の実績を基に資料のブラッシュアップを図りました。限られた時間の中で必要な内容を効率よくお伝えするために、研修結果を即座にフィードバックして更なる改良に繋がっています。

6月には管理部の新入社員を主な対象として、大府工場内を見学しながら加工方法や製品の種類を学ぶ職場内勉強会が実施されました。

社員数増加に向け、教育水準向上と効率の良い研修スタイルの確立は大変重要な課題です。また、座学にとどまらず実技・実践を採り入れることで受講者の理解度は飛躍的に向上するものと思われます。より良い教育体制の構築に取り組んでいきます。



### ■採用活動に関する新たな取り組み

#### ① 障害者雇用実現に向けた取り組み

これまで検討を続けてきた「採用のチャンネル増加」について、55期は障害者雇用の実現に向けて第一歩を踏み出しました。

名古屋情報専門学校様を訪問、ご担当の先生とのパイプ作りにも乗り出しました。これについては株式会社中西の笠原会長にも助言を頂きました。



中西様は障害者雇用のパイオニア

#### ② 成功報酬型求人サイトの運用開始

中途採用は色々なサービスを試していますが、最終的にはハローワークでの求人が確実というイメージがあります。新たな試みとして、2023年3月よりパーソルキャリア株式会社が提供する「成功報酬型」の求人サイトに登録しました。

この例に限らず、今後も安定的な雇用確保に向けて様々なチャンネルを駆使して対応していきます。

## 新設備導入

### ①ロボティクスライン設置完了

2022年3月、大府工場東ヤード「トレジャーブース」内にロボティクスラインの設置が完了しました。

事前にメーカーにてデータ読み込みを行ったのち、11日に当社に搬入されました。

愛知県の補助事業でもあり、年度末には無事に事業終了を迎えることができました。改善を続け、ピックアップ率を高めていきます。



### ②シュレッダ「オフライン化」工事進捗

従来、シュレッダプラントは母材投入から最終のECSまで、一連の流れとして繋がっていましたが、役割が切り分けられていないため生産活動に不都合が出ていました。

そこで、ドラム型磁選機を境目として設備を切り分ける「オフライン化」に踏み切りました。

これにより、破碎と選別がそれぞれ独自に稼働できるようになり、処理能力の最大化+業務範囲の拡大効果が得られます。



### ③非鉄ピックアップライン コンパクト化

2017年に完成し、「2018愛知環境賞 優秀賞」を受賞した非鉄ピックアップラインですが、完成後の機能強化などによりスペースが広がっていたため、コンパクト化(立体化)の工事を行いました。

蓄積したノウハウを活用し、新機軸を積極的に導入。目詰まりが多かったトロンメルを「円形篩い」に変えるなど機能面でもアップデート。独自技術を盛り込んだ性能はそのままに、よりコンパクトかつ機能的に生まれ変わりました。

1名での運用も可能となり、生産性も大きく向上することとなります。



# 知財取得・ISO事務局レベルアップによる管理能力向上

## ①非鉄ピックアップライン知財化プロジェクト

2022年12月、東京の国際特許商標事務所を訪問、所長様との面談の際に「非鉄ピックアップラインの知財化」の話題となり、翌年1月より具体的な取り組みをスタートさせました。

2021年に作成した経営デザイン認証「これからの経営設計図」に基づく取り組みの一環です。

所長様からは他にも様々なご提案を頂いており、多様な業務発展に繋がる可能性があります。

### ー 弁理士様との打合せ内容ー

- ・職業発明制度について、社内規定を整備する意義
- ・最終消費者に向けたPR強化の必要性(例: JX金属様の「銅パーくん」)
- ・豊明市内の医療機関との提携

## ②ISO事務局のレベルアップ

55期管理部アクションプラン⑥ISO事務局の役割見直し・確立に基づく取り組みです。

これまでの、主に人手不足を原因とする「認証取得優先」の事務局業務にメスを入れ、真に会社の運営に貢献し、会社を守るISO事務局となるために多くのチャレンジをしてきました。

手始めに「小さなことこそ真面目にしっかりと」と考え、各種マニュアルの整備、消防点検などの段取り確認、そして年間スケジュールへの各種取り組みの落とし込みなどを推進しました。

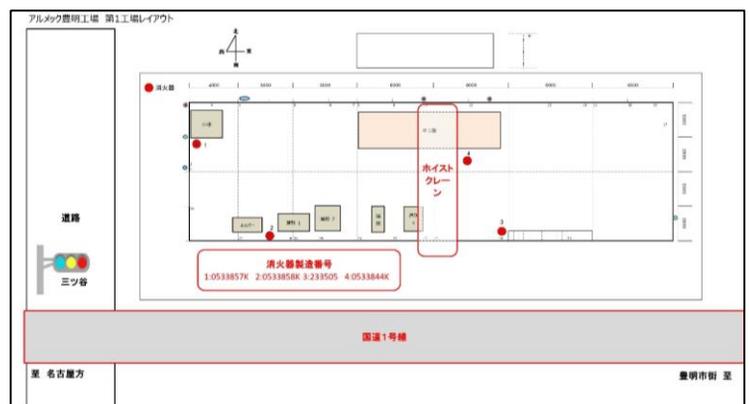


左: 段取りを見直した消防設備点検の様子

上: ISO審査の様子

2022年7月更新	2022年10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課
生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課
設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課
経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課
総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課
品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課	品質保証課
生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課	生産課
設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課	設備課
経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課	経理課
総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課

年間カレンダーの明確化



消火器の管理(マッピング)



## ボランティア活動の復活

### ①近崎自治会様 駆け馬祭りボランティア

2022年9月24日(土)、近崎神明社にて「駆け馬祭り」の準備ボランティアを実施しました。前は2019年9月、その後コロナで中止となっていました。

神社横の倉庫から丸太を境内に運び込み、柵を組み立てる作業を主に担いました。天気にも恵まれ作業は順調に進みました。

久しぶりの駆け馬ということで、地域の皆さんも大変気合を入れて準備に取り組んでおられました。アルメックが少しでもお役立ちできたならば幸いです。



### ②大脇区様でのボランティア活動について

寺前倉庫開設に向けて鋭意工事中ですが、地元となる大脇区様より夏祭り設営ボランティアのお話を頂きました。会場となる大脇神明社は「大脇の梯子獅子」で有名で、当社の安全祈願祭も毎年開催して頂いています。

日程的に営業日と重なってしまうものの、これからお世話になる大脇区の方のお力となれるよう、活動を展開していきたいと考えています。

### 豊明市立三崎小学校様 出前授業を実施

2022年10月12日(水)、豊明市立三崎小学校様にて2回目となる出前授業を実施しました。今回は5年生を対象に「3Rと身近なSDGs」と題してお話しをしました。

また、今回の出前授業は当社として初めて株式会社松尾製作所、総務人事課様とコラボレーションして実施しました。同社にとって出前授業は初めての経験とのことでしたが、両社の良い所を最大限発揮した授業にできたと思います。特に松尾製作所様発案の「3R」ゲームは子供たちから大変好評で、授業のハイライトとなりました。



## 続々と見学・取材依頼が舞い込む。

### ①日進市様見学会

2022年8月4日(木)、日進市様の小学生向け企業見学会「親子deリサイクル体験2022」を受け入れました。

想定よりも年齢層が低く、説明内容が少し難しかったかもしれませんが、特にミュージアムのご紹介を楽しんで頂けたと思います。



### ②愛知県環境局様

2022年11月8日(火)、愛知県、環境パートナーシップ・CLUB主催「サーキュラーエコノミー型ビジネス創出研究会 現地見学会」を受け入れ、会社紹介を実施しました。

参加者は約30名と、近年最多の受入人数となりましたが、滞りなく終えることができました。

県のご担当者様大変喜んでいただき、参加者からも好評でした。12月1日付「化学工業日報」にも掲載され、良いPRとなりました。



### ③株式会社ビッグ様

2022年12月12日(月)、豊明市を中心にオートボックスを展開している、株式会社ビッグの兼子社長にご来社頂きました。

ビッグ様が「経営デザイン認証」を取得され、同じ豊明市に認証企業があるとのことで当社にお問い合わせをいただきました。



## 各種「好事例集」の取材依頼対応・「すご〜い工場博」出展

- ①健康宣言好事例集(協会けんぽ愛知支部様)
- ②若者定着好事例集(愛知県様)
- ③グッドプラクティス事例集(全国中小企業団体中央会様)
- ④「ひと育ナビ」新規WEBコンテンツ「チョットおしえて！隣の会社の社員研修」(愛知県様)など多くの取材依頼があり、それぞれ対応しました。

また、2022年11月から23年1月にかけて、愛知道路コンセッション様による「すご〜い工場博」に出展、知多半島道路大府PA(上り)にて、会社紹介動画放映とパネル展示を実施しました。



# 環境保全・業務効率向上施策

## ①CO2排出量の見える化

2023年1月より、e-dash株式会社による「脱炭素サービス」を導入、運用を開始しました。

近年急速に進む「脱炭素化」の取り組みは、愛知県的主要産業でもある自動車業界においても広まりつつあります。その流れを受け、当社では業界内で先駆けて排出量の見える化に取り組むこととしました。

当面は排出量の入力に留まりますが、データ蓄積が進んだ段階で具体的な排出量抑制策の検討や、お取引先様への取り組み展開を図っていく予定です。



## ②燃料添加剤のテスト導入

2023年4月より、株式会社G-growが提供する炭素系液体燃料活性触媒「TT EX PRO」のテスト運用を開始しました。

TT EX PROの技術は国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)へ登録された、期待の先進技術です。テスト結果が良好であれば本格採用し、燃費向上によるコスト削減と、CO2排出量削減による環境負荷低減に繋げていく予定です。



炭素系液体燃料活性触媒  
ティティエクストラプロ  
**TT EX PRO**  
ガソリン用・灯油用・軽油用・重油用・再生重油用

国土交通省の新技术情報提供システム (NETIS) へ登録された、期待の先進技術です。遷移金属による触媒効果により、燃料のもつ性能を最大限に引き出し理想的な状態へ活性化します。燃焼性能向上によるトルク増加、燃費向上、完全燃焼による有害物質の低下を期待出来ます。これらにより燃料コスト削減および、CO2削減に大きく貢献し環境と経営の両面をサポートいたします。

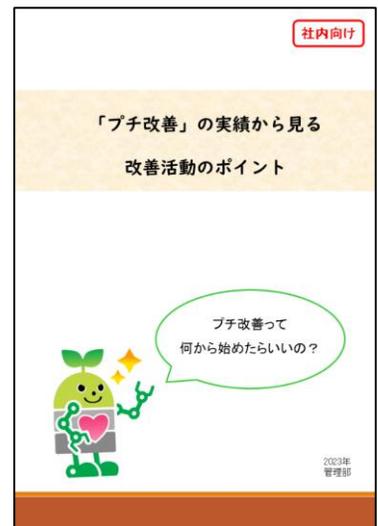
G-grow社HPより

## ③管理部の業務効率向上に向けた取り組み

管理部では業務効率向上に向けて①外注業務の取りやめ・変更(勤怠・経費)、②備品調達先見直し、③プチ改善活動の深掘りを展開しました。

経費業務内製化では、株式会社OAGコンサルティングと共にExcelを用いた伝票入力システムを開発、金額だけでなく給油量なども集計できる仕組みとし、経営分析に活用できるよう計画しました。

備品調達先は、ネット通販の調達先を新たに選定。大半のアイテムがより低コストでの調達が可能となりました。プチ改善については管理部内で勉強会を実施、改善点を発見するポイントを共有しました。



社内展開用資料

## 寺前倉庫建設工事

2022年10月28(金)に地鎮祭を執り行い、新拠点「寺前倉庫」の建設工事がスタートしました。整地・雨水貯留槽設置の後、建物工事は事務所棟→倉庫2→倉庫1の順番に実施。工事の様子は定期的にドローンで撮影して記録しています。

工事を担う創輝建設株式会社様とは毎週定例で打ち合わせを実施、都度発生する課題を速やかに解決しながら着実に作業を進めてきました。

2023年7月末時点で建物の外装工事まで完了、引き続き内装工事等を行っています。

### 寺前倉庫 工事進捗振り返り



2023年1月末



2023年2月末



2023年3月末



2023年4月末



2023年5月末



2023年6月末



2023年7月末



### ■大府市働きやすい企業表彰受賞

2023年2月6日(月)、大府市役所にて「令和4年度大府市働きやすい企業表彰」表彰式が挙行されました。

「大府市働きやすい企業表彰」とは、従業員のワークライフバランスの実現に向けて、働きやすい魅力ある職場づくりに取り組む企業を大府市が表彰する制度です。ファミリー・フレンドリー部門、健康経営部門、ダイバーシティ部門があり、アルメックはこの内「健康経営部門」を受賞しました。

他の受賞者は大府市内の優良企業ばかりであり、各社と肩を並べて受賞できたことは大変な名誉です。

これから入社される方やご家族のためにも、ますます「働きやすい企業」を目指して取り組んでいきたいと思ひます。



## 設備投資

▼大府事務所前フェンス  
2022年8月13日



▼蛍光X線分析装置【VANTA】  
2022年10月1日導入



▼ブルデビジブクレーン  
2022年10月16日導入



▼ニチュ ハンドリフト  
2022年10月17日導入



▼新ナゲットライン  
2022年10月17日導入



▼マキタ 車内用掃除機  
2022年11月8日導入



▼トロンメル  
2022年12月5日導入



▼KOBELCO SK135SR  
2022年12月20日導入



▼新16号車  
2023年1月23日導入



▼シュレツダ 本体部品  
2023年2月14日導入



▼ロボティクスライン  
2023年3月11日導入



▼新17号車  
2023年3月22日導入



▼新6号機  
2023年6月27日導入



▼新20立米 コボレーン  
2023年7月7日導入



今年度も設備の定期入替などを積極的に実施しました。期の前半は電気代の高騰、また後半にかけては全般的な物価上昇の影響があり、当社においても原価コントロール、販管費抑制の重要性を再認識しました。

来期に向けても物価の上昇基調は続く見込まれ、利益確保が重要課題となります。当社では部門長を中心とした「原価・在庫管理プロジェクト」を実施予定です。製品在庫、物品(消耗品)在庫の管理精度を今以上に高めていくことで利益の確保につなげます。

設備投資についても、例えば重機の耐用年数や修理履歴、修理金額などのデータを有効活用し、適正なタイミングでの投資を実践していきます。

・従業員数の推移

	期首	入社	退社	期末
正社員	55	6	3	58
嘱託等	9	0	1	8
合計	64	6	4	66
(大府)	47	5	3	49
(豊明)	17	1	1	17

※入退社には定年退職による再雇用者を含む

・新入社員(期末時点在籍者のみ)

[新卒]:3名

- ・2023年4月1日入社  
管理部・大府工場・豊明工場 各1名

[中途]:3名

- ・2023年3月1日入社  
管理部
- ・2023年4月3日入社  
大府工場
- ・2023年6月1日入社  
大府工場

今期は通算3人目となる現場希望の女性社員が入社されたのが大きなトピックです。溶接業務などもこなし、新たな仕事に対し前向きに挑戦されています。

男性が多い業界において、女性からも魅力的な職場と感じて頂けるよう、環境整備に努めます。

月	日	項目
8	8	役員・部門長 熱田神宮参拝
	4	日進市様見学会
	27	社員総会
9	16	地域未来牽引企業&はばたく中小企業交流会
	24	駆け馬祭りボランティア
10	1	刈谷大府就職フェア
	3	内定式・内定者研修
	12	豊明市立三崎小学校様 出前授業
	25	改善提案発表会
	28	寺前倉庫 地鎮祭
11	3	「すごい工場博」スタート(~1/31)
	19	社員旅行
	22	愛知県様見学会
12	1	寺前倉庫 地盤改良工事に着手
	12	株式会社ビッグ様(オートボックス様)来社
	15	寺前倉庫 杭打ち工事開始
	28	終了式
1	6	安全祈願祭
		新年会
2	6	大府市働きやすい企業表彰 表彰式
	15	寺前倉庫 事務所棟鉄骨建て方開始
	21	半期成果報告会
	26	社内ウォーキング大会
3	1	マイナビEXPO
	16	ロボティクスライン 安全祈願
4	3	入社式
	22	寺前倉庫 倉庫2鉄骨建て方開始
5	23	優良従業員表彰式(大府商工会議所)
6	1	避難訓練
	8	寺前倉庫 倉庫1鉄骨建て方開始
6	19	社長面談(~6/22)
6	30	社内木鶏合同体験会参加(管理部3名)
7	10	西尾信用金庫様 NISA勉強会
	21	新入社員歓迎BBQ大会



# 「会社見学」のご案内



当社では「会社見学」を随時受け付けております。2020年2月には創業60周年を記念して企画した「アルメックミュージアム」がオープン。金属資源の製造供給業務や当社の歴史について、わかりやすくご紹介しています。約70名収容可能な研修ルーム「グリーンホール」も完備しております。是非一度ご来社下さい。



アルメックミュージアム



創業60年を機に、リサイクル業の枠を超え自らを「資源製造供給会社」と位置づけ、経験と実績、業界最高水準の技術力の共有、リサイクル業界全体の底上げを目的に、【アルメックミュージアム】を開設しました。



サンプルやパネルなどの展示にとどまらず、大型ディスプレイやプロジェクションマッピング、アニメーションなど最新技術を活用した動きのある展示を工場見学と合わせて体験していただくことで、より深く、資源製造の過程をご理解いただけます。



お客様向けセミナーの様子

また、当社では金属資源の製造供給業務に限らず、各種取り組みについてご紹介ができます。お気軽に当社営業担当までお声かけ下さい。

- ・ 「健康経営」導入、運用について （健康経営優良法人、愛知県健康経営推進企業）
- ・ 社員満足度向上について （直近の社員満足度：86.7%）
- ・ 新卒採用について （15年連続新卒採用実績あり）
- ・ 読書会「木鶏クラブ」について （社内木鶏クラブ全国大会「感動賞」受賞）
- ・ 女性の活躍について （あいち女性輝きカンパニー）

# 会社概要

会社名	アルメック株式会社
本社所在地	愛知県豊明市前後町三ツ谷1361番地
TEL	(0562) 97-7215
FAX	(0562) 97-8181
代表者	代表取締役社長 星河 秀樹
資本金	1,000万円
従業員	66名(2023年7月末日現在)
創業	1959年(昭和34年)

## ■大府工場

所在地	愛知県大府市北崎町遠山143番地
TEL	(0562) 44-1159
FAX	(0562) 44-3789
事業内容	・製鉄原料加工及び販売 ・一般建設業(とび、土工) ・産業廃棄物処分業 ・産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物再生事業



## ～編集後記～

今期も無事「SDGsレポート」通算第7号を完成させることができました。

第55期はコロナの影響が少しずつ解消され、社内外の状態が元に戻ってきました。出前授業や社内見学会など、社外の方々とのコミュニケーションの場が復活したことは特に大きなやりがいや喜びとなりました。

また、寺前倉庫の建設工事が始まり、当社としてはいよいよ新たなチャレンジが本格化した重要な1年ともなりました。

第56期は寺前倉庫が稼働を開始し、社内の状況も大きく変わると思います。引き続き皆様に喜ばれ必要とされる企業であり続けられるよう、挑戦を続けていきたいと思ひます。

管理部